

16 建具 工事	1 防火戸	(16.1.3)	9 ステンレス製建具	(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)	16 軽量シャッター	(16.12.2~4)	17 カーテン ウォール 工事	1 取付方法、性能等	(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)																												
	2 見本の製作等	(16.1.4)	性能等級 簡易気密型	・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない	・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない	閉閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）N/m2 スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量（※Z06又はF06・） ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量（※AZ90・） スラットの形状 ・インターロックング形 ・オーバーラッピング形		取付方法 ・層間方式 ・柱、梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・ 性能 耐震性能 水平方向(kH) 垂直方向(kV) ・1.0 ・0.5 ・ ・ 耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・適用しない																													
	3 防犯建物部品	(16.1.6)	建具見本の製作 ・行う（建具符号：・） ・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分る程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号：・） ・行わない	・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	17 オーバーヘッドドア	(16.13.2,3)		主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）																													
	4アルミニウム製建具	(16.2.2,4,5) (表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：※建具表による・） ○B種（建具符号：※建具表による・） ・C種（建具符号：※建具表による・） ・防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット、断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	鋼板（屋外） ※SUS 430JIL、SUS 443J1、SUS 304 鋼板（屋内） ※SUS 430、SUS 430JIL、SUS 443J1、SUS 304 表面仕上げ ※H L ・鏡面 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	(16.13.2,3)	セクション材料による区分 ・※チールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	耐風圧 区分(Pa) ・125 ・100 ・75 ・50	開閉方式による区分 ・※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチカル形	ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																											
	5網戸等	(16.2,3)	枠の見込み寸法 ㊤建具表による・ 表面処理 外部に面する建具 ・B-1種 ○B-2種 ・ 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による・） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） ・C-1種 ○C-2種 ・ 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による・） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） 結露水の処理方法 ※図示 ・ 水切り板、ぜん板 ※図示 ・	・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 樹種・規格等 備 考 ・普通合板 ㊥ 表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度・） 不透明塗料塗り （※しな合板程度・） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・天然木化粧合板 ㊥ 樹種名（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・特殊加工化粧合板 ㊥ 化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1種・2種）		適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。 ・合わせガラス 品 種 構成種類 性 能 ・フロート合わせガラス ・フロート強化ガラス ・熱線吸収フロート板合わせガラス ・1種 ・2種 ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・2種 ・3種 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種 類 性 能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・1種 ・2種 ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・2種 ・3種 ・型板ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品 種 性 能 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・複層ガラス 品 類 断熱性 日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種 ・U-3-1 ・U-3-2 ・4種 ・5種 ・E4 ・E5 ・熱線反射ガラス 品 類 日射遮へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス 色調（・ブルー ・グレー） ・A種 ・B種 ・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ ・シルバー） ・B種 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ㊤シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・ 鋼製及び鋼製軽量 ㊤シーリング材 ・ ステンレス製 ・シーリング材 ・ ガラスブロック (16.14,5) 表面形状 呼び寸法 厚さ 色 調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 目地(mm) ・125×125 80 ・ ・ ※8～15 外側 ・160×160 95 ・ ・ ※15～25 ※15以下 ・200×200 125 ・ ・ 内側 ・200×200 95 ・ ・ ※6以上 ・320×320 95 ・ ・ 10～25 ・250×125 80 ・ ・ 目示 ・320×160 95 ・ ・ 曲面積の曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・） ・設けない カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしこ形状筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 ・ 形状 ※図示 ・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・適用しない 目地部のカ骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・	4 網戸等	(16.2,3)	種 類 材 種 線 径 網 目 ㊤防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ㊤ステンレス(SUS 316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS 304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	6 樹脂製建具	(16.3.2~5)	性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：※建具表による・） ・B種（建具符号：※建具表による・） ・C種（建具符号：※建具表による・） ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット、断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・） (建具符号：・建具表による・) 枠の見込み寸法 ・建具表による・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス ・	7鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	8 鋼製軽量建具	(16.2.2) (16.5.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	鋼板 材 料 めっき付着量 厚 さ ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ※Z12又はF12 ・ ※標準仕様書 ・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯） ※Y08 ・ 表16.4.2による・	10 木製建具	(16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 樹種・規格等 備 考 ・普通合板 ㊥ 表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度・） 不透明塗料塗り （※しな合板程度・） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・天然木化粧合板 ㊥ 樹種名（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・特殊加工化粧合板 ㊥ 化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1種・2種） 表面板の厚さ ※表16.7.6による ・ ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鍍板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による・ ・ふすま 張りの種別（・[1]型 ・[2]型） 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は曇花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による・ ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による・	11 建具用金物	(16.8.2,3)	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による・ 錠前類 ・建具表による・ クローザ類 ・建具表による・ マスターキー ㊤製作する ・製作しない その他の錠 ※各室3本1組 ・ 錠箱 ※有り ・無し	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
	6 樹脂製建具	(16.3.2~5)	性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：※建具表による・） ・B種（建具符号：※建具表による・） ・C種（建具符号：※建具表による・） ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット、断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・） (建具符号：・建具表による・) 枠の見込み寸法 ・建具表による・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス ・	11 建具用金物	(16.8.2,3)	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による・ 錠前類 ・建具表による・ クローザ類 ・建具表による・ マスターキー ㊤製作する ・製作しない その他の錠 ※各室3本1組 ・ 錠箱 ※有り ・無し	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																			
	7鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	11 建具用金物	(16.8.2,3)	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による・ 錠前類 ・建具表による・ クローザ類 ・建具表による・ マスターキー ㊤製作する ・製作しない その他の錠 ※各室3本1組 ・ 錠箱 ※有り ・無し	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																			
	8 鋼製軽量建具	(16.2.2) (16.5.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	11 建具用金物	(16.8.2,3)	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による・ 錠前類 ・建具表による・ クローザ類 ・建具表による・ マスターキー ㊤製作する ・製作しない その他の錠 ※各室3本1組 ・ 錠箱 ※有り ・無し	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																			
	9 ステンレス製建具	(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	11 建具用金物	(16.8.2,3)	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による・ 錠前類 ・建具表による・ クローザ類 ・建具表による・ マスターキー ㊤製作する ・製作しない その他の錠 ※各室3本1組 ・ 錠箱 ※有り ・無し	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																			
	10 木製建具	(16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 樹種・規格等 備 考 ・普通合板 ㊥ 表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度・） 不透明塗料塗り （※しな合板程度・） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・天然木化粧合板 ㊥ 樹種名（ ） 接着の程度（・1種・2種） ・特殊加工化粧合板 ㊥ 化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1種・2種） 表面板の厚さ ※表16.7.6による ・ ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鍍板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による・ ・ふすま 張りの種別（・[1]型 ・[2]型） 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は曇花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による・ ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による・	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																						
	11 鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																						
	12 鋼製軽量建具	(16.2.2) (16.5.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																						
	13 鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																						
	14 鋼製軽量建具	(16.2.2) (16.5.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・																						
	15 鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号：・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） ・ ・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・断熱ドアセット・断熱サッシ ㊥ 断熱性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・) ・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ） (建具符号：・建具表による・)	12 錠	(16.8.4)	錠箱	13 自動ドア開閉装置	(16.9.2,3)	自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-2 ・ ・DSLD-1 ・ ・DSLD-2 ・ ・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による ・SMD-1 ・ ・図示	14 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・	15 軽量シャッター	(16.11.2,3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・																						

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)					
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)		
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
				⑧断熱材	(19, 9, 2, 3)		8 断熱材		(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
					⑨断熱材		(19, 9, 2, 3)		9 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示
							⑩断熱材		(19, 9, 2, 3)	10 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)					
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)		
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
				⑧断熱材	(19, 9, 2, 3)		8 断熱材		(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
					⑨断熱材		(19, 9, 2, 3)		9 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示
							⑩断熱材		(19, 9, 2, 3)	10 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)					
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)		
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
				⑧断熱材	(19, 9, 2, 3)		8 断熱材		(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
					⑨断熱材		(19, 9, 2, 3)		9 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示
							⑩断熱材		(19, 9, 2, 3)	10 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)					
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)		
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
				⑧断熱材	(19, 9, 2, 3)		8 断熱材		(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
					⑨断熱材		(19, 9, 2, 3)		9 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示
							⑩断熱材		(19, 9, 2, 3)	10 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)					
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)		
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示			
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		
				⑧断熱材	(19, 9, 2, 3)		8 断熱材		(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
					⑨断熱材		(19, 9, 2, 3)		9 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示
							⑩断熱材		(19, 9, 2, 3)	10 断熱材	(19, 9, 2, 3)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示

18 塗装工事	①材料	(18, 1, 3)	19 内装工事	1 接着剤	(19, 2, 2)	8 フローリング張り	(19, 5, 2～6) (表19, 5, 1～5)	11 壁紙張り	(19, 5, 2, 3)			
	②素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）
		③錆止め塗料塗り		(18, 3, 2, 3)	3 ビニル床シート		(19, 2, 2, 3)		複合フローリング	(19, 7, 2, 3) (表19, 7, 1)	12 断熱材	(19, 9, 2, 3)
		④塗装		(18, 4, 1～18, 14, 2)	4 ビニル幅木		(19, 2, 2)		複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
				⑤断熱材	(19, 9, 2, 3)		5 ゴム床タイル		(19, 2, 2)	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
	⑥断熱材	(19, 9, 2, 3)		6 カーペット敷き	(19, 3, 3, 4) (表19, 3, 1, 2)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	
		⑦断熱材		(19, 9, 2, 3)	7 合成樹脂塗床		(19, 4, 2, 3) (表19, 4, 1～8)		断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工箇所 図示	断熱材の種類 ※A種1 B種1 厚さ (mm) 25 30 施工